研究分野	授業科目名	科目責任者
組織培養・免疫系分野	分子血管・血圧制御学特論Ⅱ	長洲 一

開講年次	共通／専攻／選択	単位数	
1,2	選択	2	

目的

腎生検組織診断の技術と判断を習得する。

授業到達目標

（1）腎生検組織診断：蛍光顕微鏡所見，光学顕微鏡所見，電子顕微鏡所見が解読できる。
（2）蛍光組織診断のための組織切片の作製，免疫染色，写真撮影の技法を習得できる。
（3）臨床データと合わせて組織診断が解釈できる。

授業計画

回数	月日	曜日	時間	担当者	区分 1	区分 2	授業内容
1	毎週	火	17:00-18:00	長洲　一 板野 精之 和田 佳久	講義	[抄読会] [症例検討会]	腎生検組織診断：蛍光顕微鏡所見，光学顕微鏡所見，電子顕微鏡所見の解読の実際を演習する。 [場所:本館棟 10 階南カンファレンス室]
2	毎週	火	18:00-19:00	長洲　一 板野 精之 城所 研吾 和田 佳久	講義	[抄読会]	臨床データからの腎生検前診断方法について解説する。 [場所:本館棟 10 階南カンファレンス室]

評価方法

（1）１年間※で 30 時間出席し，科目責任者から履修手帳に出席印をもらい，提出する。
（2）１年間※で，論文紹介または症例発表を２回行い，その要約２編を提出する。
　　ただし，特論Ⅰ・Ⅲで紹介したものとは異なる論文 （症例）であること。
※２月末までの講義を当該年度の単位認定の対象とする。

課題（レポート等）に対するフィードバック

腎生検所見報告書について，添削して返却する。

教科書

ISBN-9784885631986，腎生検病理アトラス ，日本腎臓学会・腎病理診断標準化委員会，日本腎病理協会（編集），東京医学社, 2010

参考書

ISBN-9781416061939, Brenner & Rector's the kidney（9th Edition）, Maarten W. Taal, et al., Saunders, 2011

準備学習（予習・復習等）

（1）大学院生は腎生検症例の蛍光抗体検査の実施，所見つけを担当する。
（2）カンファレンス前にこれを実施（予習約１時間程度）し，当日はこの内容を参加者に説明する。
（3）当日の議論をふまえて，必要があれば再度，特殊検査等も加えて再検討を行う（復習約１時間程度）。

修了認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

課題を探求し，仮説立脚，検証に至るまでの科学的方法論・思考法を知悉する。

注意事項・メッセージ

腎臓構成細胞のそれぞれの特徴を把握し，病態における細胞特異的な対応変化を理解することを目的とする。